



平成 30 年 10 月 26 日

各 位

上場会社名 東京鐵鋼株式会社
 代表者 代表取締役社長 吉原 每文
 (コード番号 5445)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 柴田 隆夫
 (TEL 03-5276-9701)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 7 月 31 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|--------|------|-------|--------------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 33,000 | 200 | 2,763 | 2,563 | 275.38 |
| 今回修正予想(B) | 32,605 | △369 | 2,171 | 1,731 | 185.92 |
| 増減額(B-A) | △395 | △569 | △592 | △832 | |
| 増減率(%) | △1.2 | — | △21.4 | △32.5 | |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期) | 24,927 | △38 | △31 | △305 | △32.93 |

※平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、5 株を 1 株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定して、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|-------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 68,000 | 2,000 | 4,563 | 3,763 | 404.31 |
| 今回修正予想(B) | 66,000 | 100 | 2,600 | 2,500 | 268.52 |
| 増減額(B-A) | △2,000 | △1,900 | △1,963 | △1,263 | |
| 増減率(%) | △2.9 | △95.0 | △43.0 | △33.6 | |
| (ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期) | 53,675 | △830 | △875 | △1,000 | △107.60 |

修正の理由

平成 31 年 3 月期上半期の業績について、売上高は、ほぼ計画通りの水準となる見込みですが、利益面では、主原料である鉄スクラップ単価や運賃コストが想定を上回って推移したことから鉄筋のトン当たりコストが 1,300 円程度上昇したため、損益状況が悪化して、営業利益及び経常利益が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益については繰延税金資産の取崩しもあり想定を下回る見込みです。

下半期については鉄スクラップ単価に加え、電極や合金鉄の価格が当初想定を上回って推移すると見込まれることにより、鉄筋のトン当たりコストが想定より 4,100 円程度上昇すると見込まれるため平成 31 年 3 月期通期連結業績予想について、下方修正を行っております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、上半期に取崩した繰延税金資産の再計上等を想定していることから減益額が少額となっております。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確実な要因が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上